

令和7年度当初予算資料
新規・拡充事業一覧

番号	予算事業名	内容	課名
1	平和	広島平和記念式典中学生派遣事業　～戦後80周年を祈念して～	企画人權課
2	文書管理	文書管理　～文書管理システムの導入～	総務課
3	コミュニティ施設整備	コミュニティ施設整備 ～白子コミュニティセンター空調機・換気設備更新工事設計業務委託～	市民活動推進課
4	障害者相談支援	障害者相談支援事業 ～障害者が安心できる障害福祉の推進～	障害福祉課
5	福祉の里施設整備	福祉の里施設整備事業　～消防設備等の改修工事～	長寿あんしん課
6	公園整備	公園整備　～トイレの多機能性を備えた洋式化・夏期の日除け設置～	公園みどり課
7	小学校施設整備	小学校施設整備事業　～空調機設置・設計業務委託～	教育総務課
8	中学校施設整備	中学校施設整備事業　～空調機設置・設計業務委託～	教育総務課
9	議会運営	議会運営　～ビジネスチャットツールの導入～	議事課
10	防犯対策業務	防犯対策業務(犯罪被害者見舞金)	危機管理室
11	小学校施設整備 特別支援学級新設	難聴・言語通級指導教室の設置	学校教育課 教育総務課
12	児童教育活動	小学校プール授業の民間委託の拡大	学校教育課

I 広島平和記念式典中学生派遣事業

～戦後80周年を祈念して～

担当：企画人権課 人権文化交流担当

I 目的・背景

和光市では、令和5年3月に平和都市を宣言し、日常生活で感じることができる平和や、戦争・非核に関することなど、平和に対する考えを市民と共有し、平和の大切さについて様々な事業を通じて発信をしている。

令和7年は太平洋戦争の終結から80年という節目の年であり、改めて「平和」というものを考えるため、次代を担う青少年を広島県広島市に派遣し、平和の大切さや命の尊さについて考える機会を提供することにより、平和に対する理解を深める。

2 事業概要

市内中学校3校から2名ずつ計6名の生徒を広島県広島市へ派遣し、毎年8月6日に広島市で行われる「平和祈念式典」への参列をはじめ、平和に関する施設の見学や平和に関する学習プログラムへの参加など、様々な平和事業を通して、青少年の視点での平和について考え、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを肌で感じ、平和に関する知識や関心を高める。

派遣後は、在籍する中学校における総合学習の時間や集会等の機会や地域、家庭等において、平和の大切さなど、派遣で得たものを伝承していく。

行程案

令和7年8月5日（火）

和光市出発～広島市～平和関連施設見学～広島市内見学～広島市宿泊

令和7年8月6日（水）

平和記念式典参加～平和関連施設見学～平和学習プログラム参加～宮島宿泊

令和7年8月7日（木）

宮島・厳島神社参拝～広島市～和光市到着

3 当該年度予算額 1,164 千円

2 文書管理

～文書管理システムの導入～

担当： 総務課 コンプライアンス担当

1 目的・背景

労働人口が減少し、人材確保が困難になる状況下で、多様化・高度化する市民サービスに対応するため、様々なデジタル技術を活用し、行政サービスの改善や効率化を図るデジタルトランスフォーメーションの実現を目指していくこととしており、その中でも、紙媒体を中心に、文書の收受から起案、決裁、施行、保存、廃棄までのライフサイクルに係る公文書管理を行っているところ、紙媒体による公文書管理には、毎年蓄積される文書の保存スペース確保や、保存文書に係る引継ぎ作業や廃棄作業、文書検索に時間・労力を要するなど、様々な課題が生じているところである。

そこで、公文書管理のデジタル化を進めることにより、業務全体の効率化、文書管理の適正化、ペーパーレス化を図るとともに、自治体DXを推進することで、将来の働き方改革やテレワーク等の分散勤務の実現を目指すため、文書管理事業の拡充として、新たに電子決裁機能を有する文書管理システムを導入するものである。

2 事業概要

文書管理システムは、クラウド型（L G W A N - A S P）方式による接続とし、接続者数は全部署 600 台程度としており、以下の4つ機能を基本として導入を計画している。

(1) 決裁

財務会計や特段の事情を除き電子決裁とする。これには回覧機能も有することを仕様に盛り込む。

(2) ファイリングシステム

ファイル基準表や文書引継ぎをシステムにより管理する。ファイリングシステムには既存の紙文書も登録し一元管理をしていく。

(3) 文書廃棄

ファイリングシステムに登録された電子文書について電磁的に廃棄する。

(4) その他事務との連携

公印使用や公文書開示請求等、上記以外の事務についてもシステムで管理することができる運用とする。

また、導入スケジュールについては以下の通り設計し進めているところである。

(1) プロポーザルによる選考

令和6年6月～令和7年2月

(2) 選考事業者との調整

令和7年3月19日～令和7年3月31日

(3) 契約（5年間長期継続契約）

令和7年4月1日（履行期間は(5)のとおり）

(4) 環境構築

令和7年4月1日～令和7年11月30日

(5) 運用開始

令和7年12月1日～令和12年11月30日

3 当該年度予算額 3,263 千円（令和7年度）

※総事業費 48,942 千円（令和7年度～令和12年度）

3 コミュニティ施設整備

～白子コミュニティセンター空調機・換気設備更新工事設計業務委託～

担当： 市民活動推進課コミュニティ担当

1 目的・背景

当センターは建設から27年が経過し、空調機及び換気設備が経年劣化により故障しており、補修部品の調達ができないことから修繕（部品交換）による対応ができないため、更新工事を行うもの。

2 事業概要

白子コミュニティセンター全館の空調及び換気設備更新にかかる設計業務委託。

単に既存の設備の入れ替えだけでなく、設置方法の変更等も視野に入れた設計を行うことで、メンテナンスや故障時の個別対応等が可能となるため、今後の施設維持管理にかかるランニングコストに配慮した設計を行う。

3 当該年度予算額 3,179 千円

4 障害者相談支援事業

～障害者が安心できる障害福祉の推進～

担当： 障害福祉課 障害支援担当

1 目的・背景

市内の地域生活支援センターでは、障害福祉に関する日常生活の相談から、福祉サービスの情報提供、専門機関の紹介、福祉サービスの調整や手続の支援、サービス等利用計画の作成まで、障害福祉全般についての支援を行っている。

近年、相談内容が複雑化しているほか、特に障害児相談支援の件数が増加しているため、各地域生活支援センターの相談員が不足している状況にある。

そこで、障害福祉サービスなど必要な支援を適切に受けることができるようするため、実情を踏まえた人件費の見直しにより、市内の地域生活支援センターの相談員の増員を図る。

2 事業概要

本市の障害者相談支援については、市内3か所に設置している地域生活支援センターに相談業務を委託して実施している。

市内の各地域生活支援センターの相談員を増員することにより、適切な障害福祉サービスの提供や市民のニーズに応える相談支援体制を強化して、障害福祉を推進していく。

3 当該年度予算額 129,659 千円

5 福祉の里施設整備事業

～消防設備等改修工事～

担当： 長寿あんしん課 長寿支援担当

1 目的・背景

定期的実施される消防設備等点検において、自動遮断検知器（※）に不具合があることが判明した。しかしながら、当該設備の設置年が古いことから、不具合個所を是正する交換可能な部品がなく、一部の修繕が実施困難な状況となった。消防設備の不具合は人命に関わるものでもあり、継続的に設備を維持管理することで、発災時に適切な対応を行う必要があるため、当該設備に係る一式の改修工事を行うこととした。

※自動遮断検知器

火災発生を通報する経路に異常（配線等の不具合で発災警報がされないなど）が生じたことを検知するシステム。当該システムがあることで、常に火災発生通報が適切に作動することを担保している。

2 事業概要

自動遮断検知器に係る設備一式の交換工事を実施する。

3 当該年度予算額 18,759 千円

6 公園整備

～トイレの多機能性を備えた洋式化・夏期の日除け設置～

担当：公園みどり課

内線：２２０７

1 目的・背景

トイレは、時代に合わせた機能の追加や経年劣化による対応を計画的に進める必要があります。トイレ設置済の市立公園 25 箇所のうち 10 箇所が和式トイレであり、更新が望まれています。また、夏期の暑さが顕在化する中で、子育て期の公園利用を念頭に市内教育保育施設を対象として実施した公園利用状況調査によると、「夏期において、休憩場所として公園を使用できる」と回答した割合は 5%に過ぎず、クールスポットの拡大が望まれています。

2 事業概要

- (1) 公園(1 箇所)の既設トイレについて、和式から多機能性を備えた洋式に改修します。
改修内容(想定)：サニタリーボックス、手すり、ベビーチェア・シート、簡易オストメイト設置
- (2) 暑さ対策として、夏期に公園(3 箇所)内に日除けを設置します。
整備内容:公園の形状や利用状況等を踏まえて選定した公園に、簡易型の日除けを設置

3 当該年度予算額 4,200 千円

7 小学校施設整備事業

～空調機設置・設計業務委託～

担当： 教育総務課 教育施設担当

1 目的・背景

近年の夏季の猛暑、冬季の寒気に対応するために、市内の空調機未設置の小学校屋内運動場に空調機を順次設置します。

2 事業概要

北原小学校、本町小学校の各屋内運動場に空調機を設置する設計業務委託、及び、第四小学校、第五小学校、広沢小学校の各屋内運動場に空調機を設置する工事を実施します。

3 概算事業費額 86,482 千円

8 中学校施設整備事業

～空調機設置・設計業務委託～

担当： 教育総務課 教育施設担当

1 目的・背景

近年の夏季の猛暑、冬季の寒気に対応するために、市内の空調機未設置の中学校屋内運動場に空調機を順次設置します。

2 事業概要

第三中学校の屋内運動場に空調機を設置する設計業務委託、及び、第二中学校の屋内運動場、武道場に空調機を設置する工事を実施します。

3 概算事業費 28,809 千円

9 議会運営

～ビジネスチャットツールの導入～

担当： 議事課 庶務担当

1 目的・背景

議員と議会事務局相互の連絡の迅速かつ効率化を図るため、職員と同様にビジネスチャットを導入するものである。

2 事業概要

議員と議会事務局のコミュニケーションツールとしてビジネスチャットを導入し、議員と議会事務局相互の連絡の迅速かつ効率化を図る。

3 当該年度予算 84 千円

10 防犯対策業務（犯罪被害者見舞金）

担当：危機管理室 危機管理担当

I 目的・背景

(1) 犯罪被害者見舞金

「和光市犯罪被害者等支援条例(案)」を3月定例会において議案上程するに当たり、犯罪被害者等に対する支援の一つである「見舞金の支給」のため令和7年度予算において必要な額を計上するものです。

(2) 和光市犯罪被害者等支援条例（案）について

条例(案)は、犯罪被害者等基本法(以下、「基本法」といいます。)の趣旨に則り、犯罪被害者等に対する支援施策の実施に関して必要な事項を定めるものです。

基本法では、自治体に対して条例の制定を義務付けていないため、いわゆる「独自条例」となりますが、全国的にみると埼玉県内では比較的条例の制定が進んでおり、令和6年7月現在で全63市町村中55市町村が制定(制定率87.3%)となっています

2 事業概要

(1) 見舞金の支給について

見舞金の支給は、この条例の中心となる経済的支援施策です。

国は、犯罪被害者等に対する経済的な支援として犯罪被害者等給付金制度を実施しており、殺人等の故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた犯罪被害者の遺族又は重傷病もしくは障害という重大な被害を受けた犯罪被害者に対して国が一時金を支給しています。しかし、申請から支給決定まで時間がかかることから、被害を受けてから国の給付金が支給されるまでの間に、国の制度を補完する形で経済的支援を実施することで、犯罪被害者等が少しでも早く平穏な生活を取り戻すことを目指して見舞金を支給します。

(2) 見舞金の種類及び額等

見舞金の支給に関しては規則で定めますが、現在予定している見舞金の種類及び額等は次のとおりです。

ア 遺族見舞金 30万円

イ 重傷病見舞金 10万円

3 当該年度予算額 400千円

II 難聴・言語通級指導教室の設置

担当：教育総務課 教育施設担当 学校教育課 指導担当

内線：教育総務 2419 学校教育 2427

I 目的・背景

これまで難聴・言語通級指導教室に通うには、近隣自治体の教室に行くしかなかったが、市内在住の保護者のニーズが高まったことから、設置を検討。令和8年度からの開設に向け、準備を進めることとした。

2 事業概要

(1) 施設の設置及び備品の整備等

既存の教室を活用して、難聴・言語通級指導教室を準備する。

(2) 就学支援

保護者との相談等により、入級者を決定する。

(3) 教育課程や教職員研修等の準備

すでに実施している近隣自治体の視察や、実際に行っている学校からの情報等入手し、教育課程や教職員の研修等について準備する。

○ 近隣自治体の状況（R7.2 現在）

- ・ 朝霞市…朝霞第四小学校、朝霞第五小学校
- ・ 新座市…八石小学校、新開小学校
- ・ 所沢市…並木小学校
- ・ 他、戸田市、川口市、富士見市にも設置されている。

○ 特別支援学校のセンター的機能の活用

埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園に「きこえとことばの相談支援センター」が設置されており、アドバイスをいただきながら対応していく。

3 当該年度予算額 8, 5 5 5 千円

12 小学校プール授業の民間委託の拡大

担当：学校教育課 指導担当

内線：2428

1 目的・背景

ここ数年、夏の猛暑により、熱中症等の危険性から、外のプールでの水泳授業の実施が難しい状況にあり、令和6年度よりプール授業の民間委託を開始した。一定の成果を踏まえ、令和7年度さらに拡大し、屋内での授業実施を進めていく。

2 事業概要

- (1) 市内の民間のプールを活用する。
- (2) 児童生徒は委託先の指導員の専門的な指導を受ける。
- (3) 移動は、原則バスを活用する。

○ 委託先（予定）…ザバススポーツクラブ和光、コナミススポーツクラブ和光

○ R7 実施予定校 …白子小学校、第五小学校
(ザバススポーツクラブ和光、コナミススポーツクラブ和光)

※ R6 実施校 …第三小学校、第四小学校
(ザバススポーツクラブ和光)

※ 施設利用のみ…広沢小学校、第二中学校
(和光市広沢複合施設「わぴあ」市民プール)

3 当該年度予算額 20,000千円